



逆瀬川 あゆみだより

NO.219 2025. 9
社会福祉法人
聖隷福祉事業団
逆瀬川あゆみ保育園
宝塚市逆瀬川 2-2-8
TEL0797-77-0415

「暑いねえ・・・」という言葉が挨拶のようになっていた8月が過ぎ、夕暮れ時の虫の声に、少しは過ごしやすくなることを願っている今日この頃です。

2025年8月は、戦後80年にちなんだTV番組をよく見る場面がありました。国によって、後世に伝えていこうとする考え方も様々で、起こってしまったことに対する捉え方も様々だとあたり前かもしれませんが、改めて感じました。

例えば、ドイツは、独裁者によって起こった大量虐殺について、なぜ群衆もそうした動きにのまれていったのかなど、過去の自国の事実を反省、検証したことを学校で学ぶ機会をもち、同じ過ちを繰り返さないようにしていることが、学生さんへのインタビューなどから知ることができました。悲しいことに、2025年の今も争いが起こっている国々があります。戦争を知らない私達保育者が、子ども達にどのようにして平和を伝え、共に考えられるのかも学ぶ良い機会だと思いました。

どうしたら、平和に過ごせるか・・・3歳児クラス子ども達と短い時間ですが、話をする時間を作ってみました。平和という言葉に対するイメージもまだ、難しいと思いますので、いろいろな気持ちについて少し気づけるきっかけになったらいいなと思いながら話をしました。

「喧嘩をしたらどんな気持ち？」と聞くと、「嫌な気持ち」「笑ったり楽しい方がいい」「優しくしたら嬉しい」などの言葉が出てきました。子ども達は、日々遊びの中で、様々なやり取りや大人の助けも借りながら、相手の気持ちに気づき、自分がどう伝えたらよかったのかを学んでいます。

また、こうしたら楽しいということも実感しているようです。仲良くする＝平和を実現しているのだと思います。遊びの中で、平和を想像する力を自然に培っているのではないのでしょうか。世界の人々が互いを大切にすることができたら、戦争や紛争は起こらないはずです。大人こそ、子ども達の素直さに学ぶことが大切なのかも知れませんか。

8/27の朝日新聞に、「トトロ 国境も世代も超え」という記事がありました。宮崎駿監督の1988年のジブリ映画を原作とした舞台「となりのトトロ」がロンドンで無期限ロングラン公演を実施し、高い評価を得ているそうです。「トトロ」はなぜ、国境や世代を超えて愛されるのか・・・読み進めていくと、演じている役者さんのコメントがありました。人気の理由について「開放感と余白があり、優しさで溢れている。その優しさを通じて、自分自身の物語を見つけることができる」「この世界において、愛と希望と好奇心が強い力になると思い出させてくれる」というコメントがありました。「トトロ」は大人でもみることができるのか！という議論があるそうで、演じている方からはもちろん「イエス！」と。「年齢の問題ではありません。あなたの『内なる子ども』がどのように生きているか、それによるものだと思います。とありました。私も子育て中に、子どもとよく一緒に観たことを思い出し、いくつになっても、遊び心や子どもの頃の素直な気持ちはもっていたいと、何十年かぶりにトトロの世界に出会ってみようかな・・・とそんな気持ちになりました。 辻田 紀子



～トライやるウィーク（中学生職業体験）～

9月8日～12日まで光が丘中学校の生徒さん、9月29日～10月3日まで宝梅中学校の生徒さんが、保育士体験に来ます。中学生の皆さんの「保育園の仕事を経験をしたい！」という気持ちをしっかり受け止めながら、保育士の仕事や、子どもたち一人ひとりを大切にする関わり方など伝えていけるといいなと思っています。中学生の皆さんが来てくれた時の子どもたちの喜ぶ姿が今から目に浮かびます。りす・うさぎ・ひつじぐみに入ってもらう予定です。

9月の予定

引き渡し訓練 1日

礼拝 1日 8日 16日 22日 29日

トライやるウィーク(中学生職業体験)

光が丘中学校 8日～12日

宝梅中学校 29日～10月3日

6日(土) あゆみ合同研修(職員参加)

ひつじぐみ ～保育参加の様子～

猛暑の中ではありますが、ひつじ組の保育参加が始まりました。プール、水あそびなど子どもたちと楽しんでくださる姿をたくさん見る事ができています。参加をして下さったお父さんやお母さんの「楽しかったです！」という言葉に私たち保育者も、元気を頂きました。ありがとうございました。子ども達は「今日は〇〇ちゃんのお母さんだね」と楽しみにしていたり、おともだちのお母さんを遊びに誘い楽しそうに過ごしています。残りあと少しですが、よろしくお願いします。



お誕生日おめでとう



4名のおともだち
すくすくおおきくなってね。

まず神の国と神の義を



「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」（マタイ6：33）

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

イエス様は、ほかのところで「求めなさい。そうすれば、与えられる」と言われました（マタイ7：7）。天の父なる神様は、真実なお方です。私たちが真摯に求めていけば、必ず与えてくださいます。ただ、思い違いをしてはならないのは、“欲しいものは何でも与えられる”と思ってはならないことです。神様は、私たちのわがままを全部聞いてくださるわけではありません。親は、子どもがねだる物を何でも与えることをしませんね。子どもに有益な物は与えますが、害になるものは決して与えません。神様は、私たちの体と心に有益な物を与えてくださいます。それは何でしょうか。「神の国と神の義」です。分かりにくい言葉ですが、平たく言えば、神様に喜ばれ、神様に導かれる生き方です。イエス様の十字架を信じて罪が赦されると、神様に喜ばれる心に変えられます。そして素直な心で神様に導かれる者になります。そのような生き方を、何をさておいてもまず求めていきたいですね。